

E-33 標準生活費の算定 (続)

日本女大家政 〇宮崎礼子 磯山友子¹⁾ 伊藤セツ²⁾ 相馬俊子³⁾ 今城治子⁴⁾ 森あす美⁵⁾ 中島明子⁶⁾ 鈴木美和子⁷⁾ 居城舞子⁸⁾ 長田真澄⁹⁾ 川島美保¹⁰⁾

目的 中30回総会において、消費支出部分に限定して磯山友子が発表し、報告は家政学雑誌中31巻中2号〜4号に7報に分けて掲載した。今回は貯蓄部分の算定と示すため、消費支出部分は、昭和55年4月価格で新しく算定し直した。その結果を用い、公費料金と費目分類検討も併せて行った。

方法 および結果 ①貯蓄は教育費準備の経費と分、老後生活費準備の引当金の部分と採用。老後は社会保険料などの年金による老後保障水準や夫婦最低生活費算定(山崎進氏他研究)に基き算定した。また不測の支出については、生命保険の利用と商品の特約と検討の上で採用した。耐久消費財購入については備え付け引当金の貯蓄部分の算定は、全消費方式では不要である。そのほかバリエーションとして取入れたものがある。家政学の方針に合わせ、それぞれの手付けすべき課題をクリアした。そのうち、実態と計画とのミスマッチ部分とフロー部分の実証的研究に基き、標準生活費の中を区分すること、全消費方式による算定の一般的に根拠のある収入数と検討すること、②新基準での算定を行うに当り、消費价格指数の適用とともに、品目別に消費价格指数を適用するべきかの検討結果、③前回算定と今回算定で特筆すべきは公費料金上昇④経理府家計調査は収支項目分類の改訂を昭和56年1月より発表したが、標準生活費を新分類で組み替えて算定結果。

1)元長野女大家政 2)都立大短大 3)元横浜国立大教育 4)群馬大教育(特) 5)昭和女大短大 6)目白学園短大 7)長野女大家政 8)元札幌商大 9)10)日本女大家政